



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第7号



12月定例会

放課後児童クラブ
(市立追分地区児童館)

平成19年(2007年)
1月15日発行

目次

◇新年のあいさつ	2	◇委員会報告	10~13
◇補正予算	3	◇請願・陳情	14
◇条例一部改正	4	◇広域組合議会	15
◇一般質問	5~9	◇私もひとこと	16

現役世代支援4割 高齢者1割

2006年
12月 定例会
 6日～15日

75歳以上の後期高齢者医療

秋田県後期高齢者医療 広域

▶▶▶▶ 医療費負担割合 公費5割

特別会計補正予算

一般会計補正予算

国民健康保険事業会計

総 額 34億7,950万円
 補正額(歳出内の予算組替により) 0円

介護保険事業会計

総 額 21億1,165万7千円
 補正額 2,980万2千円

有線放送事業会計

総 額 4,554万6千円
 補正額 64万2千円

農業集落排水事業会計

総 額 1億3,802万1千円
 補正額 30万3千円

下水道事業会計

総 額 17億3,671万8千円
 補正額 △ 979万円

合併処理浄化槽事業会計

総 額 2,536万2千円
 補正額 △ 156万7千円

補正額 2,264万5千円
 総 額 125億464万円

歳出の主なもの

- ・ コミュニティ助成金 250万円
- ・ 広域入所保育委託料 423万円
- ・ 修繕料(外灯など) 155万円
- ・ ひとり親家庭児童保育援助費 178万6千円
- ・ 県漁業協同組合天王支所荷捌所増設工事補助金 140万円
- ・ 樹木伐採処理等委託料(公園費) 235万円
- ・ 後期高齢者医療広域連合設立準備委員会負担金 95万5千円
- ・ 修繕料(中学校パネルヒーターなど) 647万1千円
- ・ 修繕料(小学校パネルヒーターなど) 421万3千円
- ・ 児童生徒派遣費補助金 150万円

企業会計補正予算

水道会計

収益的 収入 222万円
 支出 154万9千円
 資本的 収入 △ 4,854万円
 支出 △ 4,896万円

主な

条例の制定や改正

市の機構改革

◎行政組織条例の一部改正
条例

行政の簡素・効率化を図るため、本年4月1日より組織機構の一部を見直すもの。

「部」の統合として、「企画部」を「総務部」に統合します。

「課」の統合・再編では、市長の政策立案とスムーズな進行政管理体制を図るため「市長公室」を設け、総務部「総務課」の事務が機能

的に再配分されます。

また、「収入役制」が「会計管理者」となることから、出納室に「会計課」を置くこととしています。

このほか、行政委員会（選管・監査）の事務局を独立しています。

福祉法人に対する助成条例

◎市社会福祉法人に対する助成の手續に関する条例
社会福祉法人に市が助成する場合、法律の規定により条例を定めなければなら

ないため制定するもの。

地方自治法改正によるもの

◎副市長の定数を定める条例
副市長を1人とするもの。

◎地方自治法の一部改正に伴う市の関係条例の整理する条例

- ・追分出張所設置条例
- ・監査委員条例
- ・特別職報酬等審議会条例
- ・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
- ・職員等の旅費に関する条例

◎税条例
固定資産評価員の設置等に関する条例

などの7条例が改正されたものです。

専決処分のもの

本市の保育児童を由利本

荘市の保育所に入所するため、両市の間で協議をして手続きをするもの、この場合議会の議決を得る必要があるが、市長が議会を開く

暇がなかったので専決処分ですすめていたものです。この専決処分に、議会は全会一致で可決しました。

◆後期高齢者の医療制度◆

広域連合で組織運営

◎秋田県後期高齢者医療広域連合の設置について
昨年定例会に「広域連合」の設置する規約案が提案されました。

秋田県市町村会館内に設置され、本市からは1名職員が派遣されています。

これは、75歳以上の後

期高齢者医療の事務を処理するため、規約を定め、県内全市町村の構成による「広域連合」を設置するものです。



準備事務をすすめている職員
(秋田県市町村会館内)

市政を
問う

新庁舎の建設は



藤原 幸雄 議員

問 現在庁舎内にプロジェクトチームを立ちあげ、データ収集に取り組んでいるようですが、寺田知事も分庁方式は、市民に将来的に財政負担を強いことになる。

行政、議会、市民が一体となって早期に対応すべきであると、市長会で申し述べているが、見解は。

答 総合発展計画との整合性を踏まえながら、19年度において新庁舎建設検討委員会（仮称）を設置すべく関係予算を計上します。

本庁舎方式による完結型の市民サービスが可能になります。

組織機構の見直し案として、総務部に市長公室（仮称）を新設し、政策立案と進行管理業務をよりスムーズにより業務を推進します。

問 本市は合併以前は秋田市をもエリアに都市計画を作成してきたが、今後は潟上市として市長の権限と判断で見直すことができるものと思うが市長のお考えは。

答 本件は国の同意を得て県が判断する事項であるた

市街化調整区域の見直しを

め、今後関係機関と十分協議しながら進めます。

平成20年度に予定されている県の都市計画マスタープランの見直しに併せ、19年度には、潟上市都市計画マスタープランの素案の策定作業を進めます。

問 いじめ問題については、教師が児童生徒をよく知ることです。また学校と家庭間でコンタクトを取るのも大事ですが、家庭、学校、地域の役割分担と責任をもって対応することが、

最も肝要かと思うが、教育長の今後の教育方針を伺います。

答 子供を巡る最近の事件、事故、いじめ、虐待等を含め基本的な考え方を申し述べます。

どんな子供でも将来に向けて大きな可能性を持っており、心豊かに逞しく育ってほしい。事案に対しては、常にサインを見逃さず可能な限り公開し、事前事後の指導を徹して取り組んでいます。早期発見と素早い対応が肝要と指示しています。

問 東湖小の通学路（ブルー附近）の整備と外壁塗装をすべきではないか。

答 これまで子供たちの通学に不便を来たさないよう補修等に対応してきたが、前向きに検討します。

また同校は改築以来28年余りとなり、計画的に補修をしていきます。同時に市内小中学校における大規模改造、耐震補強の事業の中でも計画的に取り組みます。



国道101号線沿いの都市計画見直しは（蒲沼附近）



安全、安心、子どもを守ろう！

市政を
問う

改正介護保険の 対応は



藤原 典男 議員



デイサービスを受ける高齢者
(デイサービスセンターはまなす)

問 介護保険が改正され施設やデイサービスなどを利用している方の負担増でサービスを受けるのをやめたり減らしたりする事態が生じている。介護利用者負担減額、免除の制度の内容及び制度の適用外の方への施策についてどうか。

答 「高額介護サービス費制度」は介護保険サービスを利用する方の負担を軽減するために負担上限を設け、市町村民税課税世帯は月37,200円、非課税世帯で年金収入と合計所得の合計が80万以上は24,600

0円、同80万円以下と生活保護世帯は15,000円としています。

また、潟上市介護保険法施行細則は要介護被保険者が特別事情により負担能力に変化が生じた時に程度に応じた介護サービス料負担額などの軽減を定めております。いつでもご相談できる体制にあります。

問 秋田県は出生率を引き上げ、子育て支援を行なうために、その財源を新しい県民税創設で対応するという構想を出していますが、市長の新県民税に対する見解は。

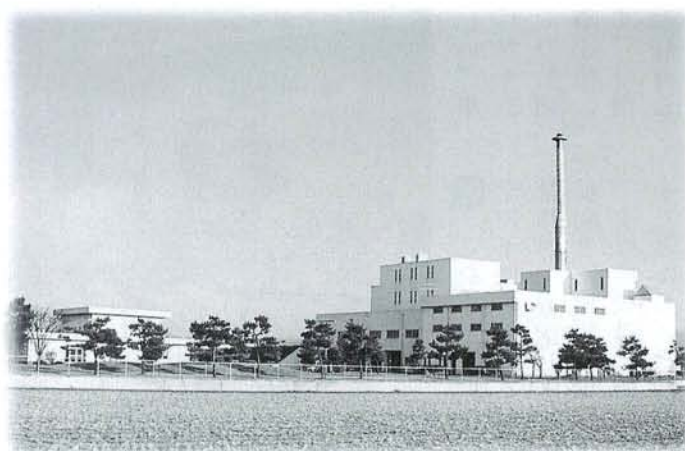
答 知事の諮問機関である県総合政策審議会の部会の構想を公表した段階であるので私の見解は差し控えます。県議会での議論後に、市町村に対して説明があると思います。

クリーンセンターの 今後の計画は

問 ゴミの焼却は潟上市単独で行なっているが今後予想される焼却施設のメンテナンスや老朽化による建て替え計画、経費について伺いたい。

答 建設から22年、耐用年数は経過しているが毎年3500万円程度の維持補修費で、できるだけ長く持たせたい。現在建て替え計画はありません。ゴミ袋料金の見直しは考えていません。ゴミの減量化対策に取り組んでいきます。

問 市は統一した作業服と腕章を貸与し地域の安心・



建設から22年を経過した市のクリーンセンター

答 季節に関係なく目につく帽子と腕章をつけ検針するよう新年度から統一したいと考えます。

市政を問う

子ども行政の一元化 「子ども課」の創設を！



中川 光博 議員

問 子どもを取り巻く環境は少子化、社会の成熟化に伴ない大きく変化しています。乳幼児から青少年までの成長段階に合わせた一貫した支援や相談を行なうための行政組織の一元化、窓口の一本化を図る必要があります。教育委員会に「子ども課」を創設し、各分野の子どもに関する施策を総合的かつ継続的に行なうべきではないか。

答 現在、児童手当、母子保健事業は社会福祉課、健康課で対応していますが、その他の子ども行政一元化を図るため、保育園、子育て支援を教育委員会に移しています。今後とも行政組織の見直しについては検討します。



子どもは国の宝・地域の宝

問 障害者雇用促進法では行政・民間双方での障害者雇用の促進を定めています。このための土壌づくりを行政が率先して行っていく必要があります。どのように取り組みますか。

答 潟上市では2・36%で法定雇用率2・1%はクリアしてますが、雇用できる職域をさらに開発していきまます。企業については関係機関と連携を密にして就労支援をしていきます。また障害者福祉施設は今後障害者自立支援法により段階的に就労支援に移行していきます。

障害者雇用の促進を



就労支援に移行を
(南秋つくし苑分場—天王つくし苑)

問 現在子どもたちは教室や学校という空間で、先生や生徒同士との関係で自己抑制、相互抑制が大きく求められています。先生と生徒の関係から、学校全体がカウンセリング機能を有し、まずは子どもの話しを聴き、双方向の関係づくりを進め、子どもの不安や緊張を極力緩和すべきと思うが、見解は。

答 学校全体がカウンセリング機能を持つことは非常に大切なことと捉えています。最も有効な対策は信頼しあう学級・学年づくりを学校全体で取り組むことです。教師と子どもは信頼関係の上に成り立たなければいけません。そのために子どもや保護者がいつでも学校に相談できる体制づくりをしていきます。

市政を
問う

職員の人事管理は



小林 悟 議員



人事評価制度の運営・運用は

問 合併協定書の中に職員の給与については、職員の処遇および給与の適正化の観点から調整をして、合併後、速やかに統一を図るとうたわれており、平成18年度にその調整額を計上している。そこで、給与の基準となるラスパイレース指数は、平成16年度からどうなっているのか。

平成19年度から人事評価制度を導入していくようですが、どのように運営・運用していくのか。

また、女性の管理職登用の計画は。

答 ラスパイレース指数は、平成16年度は旧天王町87・0%、旧昭和町80・0%、旧飯田川町81・5%です。

平成17年度は合併により、湯上市で84・7%となり、平成18年度は86・4%となりました。

したがって、調整により1・6ポイント高くなっています。

また、本市における厳しい財政状況の中での調整については、職員の定員適正化計画による職員定数の削減や事務事業の簡素効率化等々を踏まえ、順次、財政状況をしながら検討します。

人事評価制度については、適正な人事管理を推進するために職員一人ひとりの能力、実績を公平かつ客観的に評価して人事配置等に反映させるための導入であり、具体的な

導入手順については、現在検討中です。

女性管理職は、現在、部長・課長の職への女性職員はおりません。

最近職種について男女を問わず適材適所で職員配置をしていますので、近い将来、女性管理職がでてくるものと確信しています。

指定管理者制度について



多様化する市民ニーズに指定管理者制度で対応
(アグリプラザ昭和)

問 湯上市も多様化する市民ニーズに効果的、効率的かつ適切に対応をしていくために民間の活用をしこれまで以上に市民サービスの向上と経費節減の具体策は。

答 今後の制度導入の考え方としては、行政改革の観点や市民ニーズに対応すべく公共施設の活性化、あり方、見直しなどを総合的に検討し、公募制を基本として取り組んでいきます。

市政を
問う高齢者福祉
地域包括支援セン
ター設置について

大谷 貞廣 議員

問 19年度設置目標とした地域包括支援センターの取り組みは。

答 11月29日に地域包括支援センター運営協議会を立ち上げており、来年4月1日に市直営で一カ所、国の基準に従って3名の専門職を配置し設置する予定です。

民間活力の観点から福祉法人に窓口業務を委託し、市の高齢者全ての心身の健康、生活の安定、保健・福祉、医療の向上と増進のために必要な援助と支援を行ない、高齢者サービスの充実を図りながら地域ケアを総合的に推進していきます。

問 本市の介護のサービス利用者数と給付費の現状は。

答 サービス受給者数は高齢化率と同様に増加傾向です。保険給付費は、4月から9月までの実績と、第3期介護保険事業計画推計値との比較で見ると、居宅サービスで3・1%の伸び、施設サービスで、昨年の10月の制度改正により11%の減となっています。今後も保険給付の適正化を図り、安定的な事業運営に努めます。



介護サービス、安定的な事業運営に努めます。
(市立飯田川保健福祉センター)

子どもの体力アップは

問 本市の児童生徒の体力と体力アップに向けた方策は。

答 調査対象の小学6年生、中学3年生では、走力、跳力、投力は全国平均で、持久走の結果が憂慮される状況です。体力アップのため、パワーアップ元気100倍秋田事業を活用して、効果的な指導を実施しているほか、具体的には小学校ではマラソン大会を開催するなどの取り組みをしています。

問 生活習慣と学力・体力には関係があるとの調査報告があるが、本市の児童生徒の生活習慣の傾向と指導の取り組みは。

答 県で実施したライフス



一輪車も子どもの体力アップに役
(市立昭和中央児童館)

タイトル調査には、本市の小学6年67名と中学3年40名が回答しています。全般的に就寝・起床とも遅く、朝食は女子が摂る割合が多くなっています。きちんとした生活習慣の確立のため、特別活動や保健体育授業を通じて、また、PTAや学校報などで保護者との連携を密にしなが健康増進に努めます。

委員会のうごき

市はどう答えたか

総務

委員長	伊藤 栄悦
副委員長	藤原 幸雄
委員	千田 正英
委員	藤原 典男
委員	中川 光博
委員	堀井 克見

問 助役を副市長とするこ
とで従来との違いは。

答 助役は市長の補佐役的
な部分が主となるが、副市
長は更に市長の職務権限の
一部を委譲することができ
ます。

問 市長公室の設置は、総
合発展計画との整合性と今
後の行財政改革との関係
は。

答 常に見直して行く気構
えが大前提です。総合発展
計画は10年、基本計画は5
年、実施計画は3年であ
り、各々の計画がどのよう
に実施されているのか検証
が必要です。財政的な問題
と整合性、スピードアップ
が本来の着眼点です。

問 庁舎建設の見直しは。

答 基本的には合併協議会
で確認されていますが、18
年度中に職員の検討委員会
で、データ収集を行なっ
ている状況です。19年度の当
初予算に計上して、まず場
所が一番問題です。

必然と合併後3年間に調
査して4年頃、場所の目途

をつけるのが、スケジュー
ルの可能かと思えます。

問 組織機構の見直しで効
率的な運用を図ると、ある
が今までの運用の不都合、
問題点はどこなのか。

答 行革を含めてのスピー
ドアップと町づくりの諸施
策を政策として具体的に展
開していくことを踏まえ
て、広報等がダイレクトに
市民に伝わるよう。また、
今までよりもっと効率があ
良くなるような方向でいく
流れを作って行きたい。

問 市長公室を設けること
は市民に対してよりよいサ
ービスを提供すること、自
主財源を確保するために、
出来る限り自治体が民間委
託できるものは、民営化す
ることが、行政のスリム化
になるのではないか。

答 民間委託等は行政改革
大綱の中にもあるように、
今後スピードを上げてやれ
るような体制づくりをし
ます。

問 コミュニティ助成金に
ついて。

答 天王本郷会の方で主な
備品は印刷機、テレビ、冷
蔵庫、コピー機、座卓等。

問 広報はわくわく感のあ
る、凝縮したニュースで月
一回でもよいのでは。

答 課内（庁内）でも検討
し、その中では月一回とい
う方向性を探っていきたい
と考えています。

問 この時期に修繕料が出
てきますが、トータルすれ
ば大変な額で、財政全般の
バランスをもつて取り組ん
でもらいたいが。

答 業務点検等の報告書に
修繕をする必要があった場
合でも、当初予算計上か補
正で対応すべきか検討し、
出来る限り当初への計上と
考えています。

本年4月から行政組織機構を見直し



天王庁舎



昭和庁舎



飯田川庁舎

委員会のうごき

市はどう答えたか

委員長	伊藤 博
副委員長	菅原 久和
委員	戸田 俊樹
委員	成田 進
委員	佐藤 幸孝
委員	藤原 幸作

社会厚生

問 特養施設への入所選考基準は。

答 潟上市には3施設あり、入所判定要綱があります。介護度、家族と介護者の状況、介護者の年齢、入所の状況、待機期間等が考慮され75点以上が入所資格者となり点数の高い人から順に入所することになります。判定にあたる委員は、施設長をキャプテンとして介護福祉士、居宅介護支援専門員など6人から7人の構成となっています。

問 債務負担行為で2,700万円を措置しているが従来も債務負担行為で対応してきたのか。

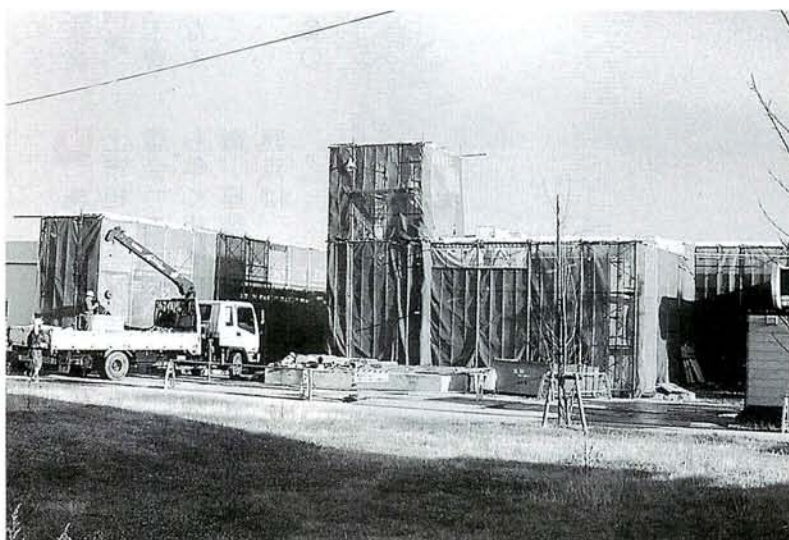
答 旧天王町の松恵苑、旧飯田川町のわかば園については、債務負担行為で対応しています。

問 わかば園の入所希望者は。

答 市内の方が61人、市外

の方が50人となっています。

問 潟上市民を優先的に入所させるということであるが。



30床の増床工事中の「わかば園」

答 市として3千万円を補助する訳でありますので、市の待機者の解消について十分配慮してくださるものと確信致しております。

問 松恵苑からも陳情がでているが、その他の特養の

増床計画はないのか。

答 現在のところありません。

問 社会福祉法人に対する助成の手続に関する条例は、増床部分に限っての助成に限定したもののなのか。

答 松恵苑とわかば園の増床計画に約1億円工事費に差がありますが、主な要因としては厨房の増設工事が6千万円となっているためです。

市の交付要綱案で、一床当たり百万円、一施設当たり3千万円を限度としておりますので、それぞれの施設の事情も考慮しながら、対応して参ります。

問 老人クラブ補助金が47万4千円減額となっているが、加入者の減によるものか。

答 就労できる方は職業安定所の協力を得て就労支援を行い、就労開始に結びつけ、逆に働く意欲のない方は手続きを踏んで保護を打ち切る等の対策を徹底しています。

答 18年度老人クラブ補助金の算定方法を変更しました。正会員・準会員に関係なく一律500円を補助していたが、今年度は、支給対象を正会員のみにしたため、前年度より418人が減少したことです。

問 生活保護費が大幅な増加となっているが、生活困窮者が拡大しているのか。

答 被保護者は増加しています。中でも高齢者や傷病者で保護を受けている方が増えているため、医療扶助の増加が大きいことも理由となっています。

問 生活保護費の支給額は。

答 標準3人世帯で、13万8千円です。

問 増加に歯止めをかけられないのか。

答 就労できる方は職業安定所の協力を得て就労支援を行い、就労開始に結びつけ、逆に働く意欲のない方は手続きを踏んで保護を打ち切る等の対策を徹底しています。

委員会のうごき

市はどう答えたか

産業建設

委員長	児玉 春雄
副委員長	佐藤 義久
委員	澤井昭二郎
委員	赤平末次郎
委員	佐藤 昇

問 天王長沼地区地域用水環境整備事業について。

答 18年度の事業費は8千万円で、農業用分水溜池で天王地区、昭和地区の圃場に用水を供給。護岸補修、植栽、周辺環境整備、3カ年で2億8百万円の予定で、19年度の完工、この3月までの工期で70%出来高です、工事のコスト削減、請負時の減額などで総工費は1億5百万円程度になる見込みです。

問 地方道路臨時交付金の対象は。

答 昭和地区、JRの清水跨線橋です。

問 新関湖南交流センターの木の床補修の予算についてですが以前の調査で、湿気が原因でセンター内の「菅原源八翁」の蔵書等が朽ちることの無いよう床下強制換気、空調設備の

運転などを必要としていたのでは。

答 スプリンクラーの凍結漏水が要因でした。湿度を絶つことで床材への影響は避けられると考えています。空調については支障のないよう対応しています。

問 集落営農について「潟上市担い手育成総合支援協議会」の構成メンバーといち早く組織化した集落の特徴、座談会の主な内容と問題点は。

答 構成メンバーは、市、二つの農協組合長、全部の集荷業者、農業委員会、長、土地改良区、県振興局、認定

農業者協議会長です。

組織化した集落は豊川仁山、立ち上げの基礎にミニライスセンターがあり、妹川浜は面場整備をきっかけに大豆団地の集団化プロジェクトイニシオンを実施し、組織的に営農を展開。ほかに、昭和飯田川は2地域が可能性を持つています。天王地域は認定農業者が相当数の農地を占め、4ヘクタールの耕作要件を満たすので中心に進むものと思われる。また、12の大豆転作集団があり、これらを中心に進めたい。

問 鞍掛沼公園活性化委員会の構成メンバーと今後、天王以外は考えていないか。



鞍掛沼公園の活性化を検討

答 旧天王町の活性化検討委員会のメンバーを踏襲したいと考えて11月22日に11名で設立準備委員会を開催、定数が20名ですので新年度からブルーメッセや観光協会など市と関わりのある委員を加えたい。

問 旧町の給水管が接近している所はお互いに接続して安定供給は不可能か。

答 旧町境はどこも管径が細く直接の接続は不可能です。そのような問題も含めて来年度までに作成する水道基本計画の検討課題、新たな水源地を求めるなどの方策を検討していきます。



天王長沼地区地域用水環境整備事業

委員会のうごき

市はどう答えたか

委員長	佐藤恵佐雄
副委員長	大谷 貞廣
委員	小林 悟
委員	村井 政克
委員	西村 武

文

教

問 ひとり親家庭児童保育
援助費補助金の対象は。

答 母親、父親、里親が対象となっており、所得税3千円未満の世帯が該当になります。

また、申請に基づくものであります。

問 広域入所保育委託料の内容と理由は。

待機待ちが理由というのではないか。

答 3施設
4名分の追加であります。

委託の主な理由は、通勤途上で勤務地が近い保育所がほとんどで、待機待ちを理由に広域入所している子どもはおりません。



市内の保育園児、他市町村の保育園に入所（広域入所）

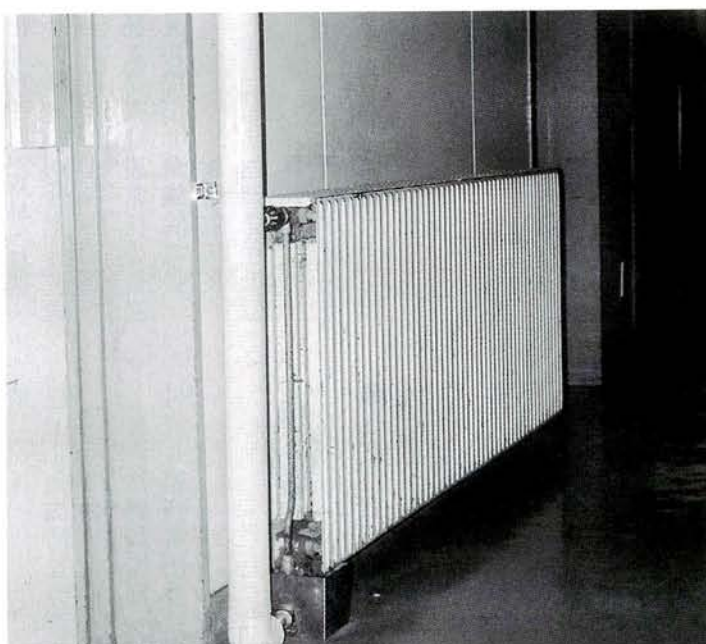
問 学校教育将来構想策定補助金の事業内容は。

答 学校教育にかかると将来構想策定市町村に県が補助金を交付するものであります。本市は、昨年から教育ビジョンを策定しており補助対象となりました。

今年度の事業内容は、小中連携の事業並びに学力向上の事業を行っている先進地視察を予定しています。

問 学校修繕料にパネルヒーターが大きな比率であがっているが、今後どのくらい出てくるのか。
計画的な改修は。

答 使用不可能な状態のものは補正で対応しています。当初予算でもそれぞれの小中学校から要望がきておりますので計画的に対応しております。



パネルヒーターの修繕を早目に

問 ノロウイルスで追分乳児保育園の報道があったが、発生は1カ所だけなのか。現状は。

答 若竹乳児教育センター、昭和中央保育所、追分乳児保育所と3カ所で発生しております。

今後は、予防策については保健所等関係機関と協議しながら進めていきます。菌の特定が難しいということでありまして、常に予防等事後処理について万全を尽くします。

請願 陳情



市に増床工事の助成陳情（松恵苑）

陳情 採択

●特別養護老人ホーム松恵苑増床工事等に係る助成について（要望書）

提出Ⅱ社会福祉法人敬仁会
付託Ⅱ社会厚生常任委員会

●秋田県の医師不足を解消し、地域医療の確保を求める陳情書

提出Ⅱ秋田県医療労働組合
連合会

付託Ⅱ社会厚生常任委員会
意見書提出Ⅱ内閣総理大臣
厚生労働大臣

秋田県知事

●療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める陳情書

提出Ⅱ秋田県社会保障推進協議会

付託Ⅱ社会厚生常任委員会
意見書提出Ⅱ内閣総理大臣
厚生労働大臣

●「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求める陳情書

提出Ⅱ秋田県社会保障推進協議会

付託Ⅱ社会厚生常任委員会

意見書提出Ⅱ内閣総理大臣
厚生労働大臣

●「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために庶民増税の中止を求める陳情書

提出Ⅱ秋田県社会保障推進協議会

付託Ⅱ社会厚生常任委員会
意見書提出Ⅱ内閣総理大臣
厚生労働大臣

●森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める陳情書の提出について

提出Ⅱ秋田県「森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会」

付託Ⅱ産業建設常任委員会
意見書提出Ⅱ衆議院議長
参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣
農林水産大臣
環境大臣

陳情 継続

●陳情書（天王字北野31-3道路拡張）

提出Ⅱ三軒屋自治会
付託Ⅱ産業建設常任委員会

●米価下落に影響を及ぼす低品位米と政府備蓄米の流通見直しを求める陳情書
提出Ⅱ生き物共生農業を進める会

付託Ⅱ産業建設常任委員会

●飯田川地域の自然環境整備の保全について

提出Ⅱふたあらの丘を愛する会

付託Ⅱ産業建設常任委員会

陳情 不採択

●法務局の増員に関する陳情

提出Ⅱ全法務省労働組合東北地方本部秋田地方

法務局支部秋田分会
付託Ⅱ総務常任委員会

陳情 取下

●道路整備、雨水排水、舗装工事、側溝新設について（天王字追分50ほか）

提出Ⅱ潟上市天王字追分50-10

代表者 村山 和夫
理由Ⅱ諸条件を満たすことは厳しいと判断

男鹿地区消防一部事務組合



男鹿地区消防一部事務組合（本署）

12月25日に定例会を開催、次の議案を認定並びに可決しました。
 ◎平成17年度一般会計決算並びに特別会計決算
 一般会計の歳入決算額は13億5、270万円で主に構成市村（2市1村）の負担金となっています。
 男鹿市7億4、851万4千円、潟上市4億2、745万5千円、大潟村1億2、693万3千円の負担となりました。
 歳出決算額は、13億4、821万円で実質収支額は449万円となりました。
 ◎秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更
 ◎平成18年度一般会計補正予算
 ◎平成18年度大型化学消防車等特別会計補正予算
 など4案全会一致で決めたものです。

湖東地区行政一部事務組合

消防施設費を追加補正する
 パソコン整備 260万円
 国の指導による情報管理、漏洩の防止
 応急救護所設置・機材整備 300万円
 エアーテント・付属備品購入

12月18日に定例会を開催。一般会計補正予算を審議しました。
 171万3千円を減額、総額5億8390万7千円とした。
 内訳
 議会費 △ 26万3千円
 総務費 △ 150万円
 衛生費（斎場） 45万9千円
 消防費 △ 40万9千円
 各構成市町の負担金は次のとおり減額になりました。
 負担金市町 衛生費 消防費
 潟上市 11万8千円 54万1千円
 井川町 5万4千円 24万7千円
 八郎潟町 6万2千円 28万7千円



応急救護所、エアテントで対応

男鹿地区衛生処理一部事務組合



男鹿地区衛生処理一部事務組合

12月22日当組合議会を開催し議案の内容は次の通りです。
 ◎平成17年度決算を認定
 歳入歳出の予算総額は2億8319万千円。前年対比1・8%減でした。構成市の負担金は男鹿市1億8519万8千円（70・4%）潟上市7791万4千円（29・6%）となっている。
 ◎秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
 地方自治法第286条第1項の規定に基づき変更するものです。
 ◎18年度当組合の一般会計補正予算は613万円で主なものは総務費でした。
 3案を原案の通り可決されました。

私もひとこと



平成十七年三月二十二日に旧三町が合併し、「潟上市」が誕生しました。早いもので一年九カ月が過ぎようとしております。

すぐにでも傍聴をと思っておりますが、このたびやと機会に恵まれました。天王婦人会の執行部に呼びかけ、都合のついた七名で伺いました。

議場に入るといつも心地良い緊張感に包まれ、特別な場所だと実感しました。

旧天王町の議場と比較して大変立派なのに驚かされました。

また、以前質問者は同僚議員、傍聴者を向いて行っておりましたが、逆の向きに行っており印象的でした。十八年度に入り六月の第一回市民公開セミナーを皮切りに十一月の第一二九回秋田県種苗交換会、特に五日に行なわれた男女共同参画宣言都市記念式典・記念フォーラム等新しい行事が目白押しでした。昨年は多

潟上市天王上江川

吉田良子さん

忙な一年だったように思います。

これらの行事の経験から益々の士気高揚を計り、秋田わか杉国体に繋げられたらと思います。記念に残る大会になりますように、市民の一人として協力してまいりたいと存じます。

議決機関と執行機関がうまく協力しあい、市の発展と議員各位のご活躍を祈りながら帰路に着きました。

議会を傍聴してみませんか

本会議

議会の内容をよく知る方法として傍聴があります。

傍聴すると、議会広報で伝えることのできない議会や議員の活動など生の姿を見聞できます。

委員会

各委員会も委員長許可を得て傍聴できます。

○次の定例会は3月の予定です。日程等を議会事務局にお問い合わせのうえ、どうぞお気軽に傍聴してください。

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は、種苗交換会が開催され、潟上市を県内外に広くPRすることができました。本年は秋田わか杉国体が本県で開催され、当市はレスリング、相撲会場となります。潟上市をあげて大会を盛り上げ、訪れた方々と私

ち市民にとって思い出深いイベントとなるようにしたいものです。

新生潟上市として3年目を迎えるこの年、市民の皆さんにとってもっと身近な市議会を目指して議会の情報発信をしていきたいと思ひます。(記 菅原)

編集委員長 藤原幸雄
編集副委員長 菅原久和
編集委員 佐藤義久
編集委員 小林 悟



子どもの安全・安心
「除雪もお願い…」



豪雪への対応 ローター車5台へ補助